



## 2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社マーキュリアホールディングス  
コード番号 7347 URL <https://mercuria-hd.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 豊島 俊弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理統括 (氏名) 滝川 祐介

TEL 03 - 3500 - 9870

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,819		1,460		1,499		1,032	
2020年12月期第3四半期								

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,684百万円 ( %) 2020年12月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	61.43	60.88
2020年12月期第3四半期		

(注) 当社は、2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	16,008	13,819	82.1
2020年12月期			

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 13,137百万円 2020年12月期 百万円

(注) 当社は、2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績は記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期					
2021年12月期					
2021年12月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び第2四半期までの実績は記載しておりません。

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800		1,800		1,800		1,200		71.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、対前期増減率は記載しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	17,670,100 株	2020年12月期	株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	857,111 株	2020年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	16,804,266 株	2020年12月期3Q	株

(注)当社は2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績は記載しておりません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、2021年7月1日に単独株式移転により株式会社マーキュリアインベストメントの完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、株式会社マーキュリアインベストメントの2020年12月期第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）と、また、前連結会計年度末と比較を行っている項目については、株式会社マーキュリアインベストメントの2020年12月期連結会計年度末（2020年12月31日）と比較しております。

また、当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年9月30日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社マーキュリアインベストメントの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し経済活動の抑制が続く中、一部では持ち直しの動きもみられるものの、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下で、当社グループでは中長期的な成長を目指し、既存ファンドにおいては、株式会社日本政策投資銀行及び三井住友信託銀行株式会社を中心に組成した「マーキュリア日本産業成長支援投資事業有限責任組合（パイアウト1号ファンド）」において保有する株式を売却したことにより、当該ファンドに対するセムポート投資を通じたファンド投資持分利益を計上しました。また、同ファンドより、事業会社への新たな投資も行いました。

新規ファンドにおいては、伊藤忠エネクス株式会社及び三井住友信託銀行株式会社などの事業パートナーと共同で組成したエネクス・インフラ投資法人への太陽光発電施設の組入を基本戦略とするインフラ・ウェアハウジングファンドが、当初想定を上回る投資家コミットメント総額にて組成完了するなど、管理報酬の底上げを行うべくマクロ環境に沿った投資戦略に基づく事業企画を行ってまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,818,825千円となりました。対前年同期比については、当第3四半期連結累計期間では自己投資事業において、パイアウト1号ファンドの保有株式売却に係るファンド持分利益、及び太陽光発電施設のエネクス・インフラ投資法人への組入による営業収益を計上したものの、前第3四半期連結累計期間には、当社グループが保有していたSpring REITユニットの譲渡取引を行い多額の営業収益を計上していたこと、及び当社が管理運営を行う「あすかDBJ投資事業有限責任組合」にて保有する株式の売却による投資回収を行うことで成功報酬を計上していたことから、18.5%の減少となりました。

一方で、経常利益は、上述のパイアウト1号ファンドの保有株式売却及び太陽光発電施設の組入による利益が生じたこと、並びに前第3四半期連結累計期間には前述のSpring REITユニットの譲渡取引において損失が生じていたことから前年同期から43.6%増加し、1,499,424千円となりました。

これにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期から63.3%増加し、1,032,255千円となりました。

なお、当社グループは投資運用事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して955,347千円増加して16,007,961千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,439,890千円、関係会社短期貸付金が293,250千円減少した一方で、エネクス・インフラ投資法人への組入を目的とした太陽光発電施設保有ビークルの取得、及び保有有価証券に係る時価評価の影響等により、営業投資有価証券が2,692,331千円増加したことによるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比較して394,956千円減少して2,188,703千円となりました。これは主に、返済により短期借入金が293,250千円減少したことによるものです。

純資産額は、前連結会計年度末と比較して1,350,303千円増加して13,819,259千円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が430,883千円、利益剰余金が689,987千円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2021年7月1日に公表した「株式会社マーキュリアホールディングスの設立及び2021年12月期連結業績予想、配当予想に関するお知らせ」から変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,440,372
営業未収入金	372,561
営業投資有価証券	12,315,405
営業貸付金	699,760
立替金	49,290
その他	252,837
流動資産合計	15,130,224
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	53,209
工具、器具及び備品(純額)	5,747
有形固定資産合計	58,956
無形固定資産	
ソフトウェア	392
無形固定資産合計	392
投資その他の資産	
投資有価証券	315,185
敷金及び保証金	83,075
繰延税金資産	405,053
その他	15,076
投資その他の資産合計	818,389
固定資産合計	877,738
資産合計	16,007,961
<b>負債の部</b>	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	130,000
未払金	67,224
未払費用	85,790
未払法人税等	161,227
前受収益	156,842
賞与引当金	79,920
その他	50,577
流動負債合計	731,579
固定負債	
長期借入金	776,000
役員退職慰労引当金	102,000
役員株式報酬引当金	158,419
従業員株式報酬引当金	16,875
退職給付に係る負債	135,430
長期未払金	233,755
長期預り金	19,337
その他	15,307
固定負債合計	1,457,124
負債合計	2,188,703

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)	
純資産の部	
株主資本	
資本金	3,000,000
資本剰余金	3,453,269
利益剰余金	7,449,749
自己株式	△712,885
株主資本合計	13,190,132
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	47,967
為替換算調整勘定	△100,610
その他の包括利益累計額合計	△52,643
新株予約権	320
非支配株主持分	681,449
純資産合計	13,819,259
負債純資産合計	16,007,961

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業収益	2,818,825
営業原価	137,206
営業総利益	2,681,619
販売費及び一般管理費	1,221,622
営業利益	1,459,997
営業外収益	
受取利息	4,595
為替差益	51,519
貸貸料収入	431
その他	1,872
営業外収益合計	58,418
営業外費用	
支払利息	14,491
融資関連費用	4,500
営業外費用合計	18,991
経常利益	1,499,424
税金等調整前四半期純利益	1,499,424
法人税等	389,591
四半期純利益	1,109,833
非支配株主に帰属する四半期純利益	77,578
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,255



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	1,109,833
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	430,883
為替換算調整勘定	143,902
持分法適用会社に対する持分相当額	△212
その他の包括利益合計	574,573
四半期包括利益	1,684,407
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,580,455
非支配株主に係る四半期包括利益	103,951

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。